

～ 先輩からの声 ～



小林 優也

2016年入庁

観光課・スポーツツーリズム

推進室担当

志望動機

私は大学で教育学部に所属し、教育について学んでいました。その中で、学校現場だけではなく、子どもたちの取り巻く環境について興味を持ち、子どもたちの学びがより豊かになるような仕組みやまちづくりに携わりたいと思うようになりました。たくさん市の町村がある中で、やはり生まれ育った宇陀市に貢献したい気持ちが強く宇陀市を志望しました。

担当業務

スポーツツーリズム（スポーツの参加や観戦などを目的に地域を訪れ、スポーツを掛け合わせた観光を楽しむこと）事業の推進で、還暦野球やインカレ野球等の大会運営をしています。他にも観光案内や観光PR、観光トイレの管理や観光看板の整備といった仕事もあり、観光に関する様々な仕事があります。

やりがいについて

イベントなどの準備や運営は非常に難しく、予期せぬことも発生するので、苦労しますが、やり終えるとやはり達成感があります。反省点や改善点が毎回出てくるので、先輩方にアドバイスをもらい、次にどう活かしていくか、そこにやりがいを感じます。

他には、観光案内をした後に、「親切に教えてくれてありがとう。」や「教えてもらった場所よかったよ。」などと言ってくれたときは、こちらもうれしい気持ちになり、次からもしっかりと案内しようという励みになります。

市職員のイメージは

課によって仕事内容が多種多様で、入庁前もいろんな課があることは知ってはいましたが、そんなことまでしてるんだと入ってから思うことがたくさんありました。

また思った以上にフレンドリーに話しかけてくれる人が多く、仕事でも助けてくれる人が多いので、ありがたいです。

受験者に向けて

宇陀市を文字や写真だけで判断するのではなく、実際に宇陀市のいろんな場所に行ってみてください。自分で体感するほうがよりリアルなイメージが湧くと思います。